視察研修

原子力対策特別委員会

視察日 令和8年7月1日（水）
～3日（金）

視察先及び内容

○日本原子力研究機構大洗研究所
（茨城県大洗町）

原子力機構の研究開発拠点は日本全国にあり、大洗地区では「常陽」や照射後試験施設等による高速炉サイクル技術開発、高温ガス炉及びこれによる熱利用技術の研究開発等を実施しています。大洗研究所は、高速炉である「常陽（実験炉）」と高温ガス炉である「HTTR（試験炉）」を有しております。常陽は、高速中性子により、核分裂連鎖反応を維持する原子炉であり、HTTRは950℃の高温熱を取り出すことができる原子炉です。これらは、環境にやさしく、次世代のエネルギーとして期待されています。

○柏崎市役所・柏崎刈羽原子力発電所（新潟県柏崎市）

柏崎刈羽原子力発電所は、福島第一原子力発電所事故を踏まえた新規制基準に基づく設備の多様化・多層化を図るとともに、過酷事故を想定した訓練を繰り返し行うことで安全性を高めています。核物質を扱うものとして、セキュリティ面での対策を強化してきており、生体認証装置やセンサー類の刷新・改良など設備面における対策だけでなく、日々の行動観察による指摘・改善など運用面での強化も行っています。


柏崎刈羽原子力発電所視察の様子


大洗研究所視察の様子

政治家の寄附行為・年賀状は禁止されています

政治家（候補者・候補者となろうとする者・現に公職にある者）は、公職選挙法により選挙区内の人に対して寄附やあいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く）を出すことは禁止されています。皆様のご理解をお願いいたします。



※公益社団法人 明るい選挙推進協会リーフレットより抜粋